

平成 26 年

雲南市議会 9 月定例会  
一般質問通告一覧表

【一般質問日程 平成 26 年 9 月 8 日～10 日】

平成 26 年雲南市議会 9 月定例会 一般質問通告一覧表 目次

順番	日程	議席番号／氏名	質問方式	ページ	順番	日程	議員番号／氏名	質問方式	ページ
1	9/8(月) 9時30分～	20 / 小林眞二	一問一答	1～3	11	9/10(水) 9時30分～	9 / 周藤正志	一問一答	18,19
2		2 / 中村辰眞	一問一答	3～5	12		8 / 佐藤隆司	一問一答	20～22
3	9/8(月) 13時00分～	19 / 堀江治之	一問一答	5,6					
4		13 / 安井 誉	一 括	7,8					
5		7 / 細木照子	一 括	9,10					
6	9/9(火) 9時30分～	3 / 原 祐二	一問一答	10,11					
7		1 / 松林孝之	一問一答	11～13					
8	9/9(火) 13時00分～	16 / 山崎正幸	一問一答	13～16					
9		6 / 多賀三雄	一問一答	16,17					
10		15 / 細田 実	一問一答	17,18					

平成26年雲南市議会9月定例会 一般質問通告一覧表

平成26年9月2日

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
1	20	小林 眞二 (一問一答)	1. 安全安心で暮らせる災害対策について  2. 小中学生・青少年のインターネット利用について	<p>8月20日未明、広島県北部で起きた大規模土砂災害は、多数の死者・行方不明者を出した。短時間での異常な雨量により、山肌が崩壊したとみられる。改めて、行政がどう危険を伝え、住民がいかにか身を守るかについて伺う。</p> <p>(1)市内の急傾斜などの整備を要する箇所を整備率は20%といわれる。全体の80%が未整備であり、市内において記録的な集中豪雨が発生した場合、土砂災害を全くの想定外とは言い切れない。早急な対策が望まれるが、見解を伺う。</p> <p>(2)土砂災害防止法に基づく警戒区域(3,631箇所)、特別警戒区域(0箇所)が危険箇所となると考える。</p> <p>土砂災害警戒区域の指定は、住民の合意がなければ、事実上難しいとされる。しかし、区域の指定は、災害を繰り返さないため、住民に危険度を伝える手段でもある。命を守ることを最優先し、警戒区域の指定または再点検をすべきと思うが、所見を伺う。</p> <p>(3)今回の被害の拡大は、避難勧告が大幅に遅れたこと、また夜間に発生し、住民も適切な避難行動が取れなかったことが原因のようだ。夜間の不意の災害にどう対応するのか。市は現状においてどう対策を立てているのか伺う。</p> <p>昨年内閣府が調査した、小中高校生のスマートフォン、インターネット利用時間が発表された。インターネットに依存している疑いの強い生徒が全国で51万8千人にのぼると推計されるという。市内の現状について伺う。</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			3. 観光振興について	<p>(1)スマートフォンやネット依存の実態について、どのように把握されているか伺う。</p> <p>(2)全国的にインターネットに簡単に接続できるスマートフォンにより、子どもが犯罪に巻き込まれたり、有害情報に接したりできることで懸念が高まっている。ネット依存を防ぐ取り組みと、依存傾向の児童生徒への対応について伺う。</p> <p>(3)ネット犯罪を防止するための取り組みについて伺う。</p> <p>(4)青少年が悪ふざけを写した写真をネット上に投稿するなど、情報モラルに欠けた行為が頻繁に報道された。学校現場では、生徒に対してモラル教育をどのように行っているか。また、教師への研修など、どのように実施しているのか伺う。</p> <p>(5)文科省は、小学6年生と中学3年生を対象に実施した「全国学力テスト」の結果を公表した。同時に行った調査により携帯電話やスマートフォンの利用時間の長短で成績に影響が現れていると指摘している。この報告をどのように受け止め、今後学校現場においてどう教師を指導されるのか。また、保護者への協力も必要と思われるが見解を伺う。</p> <p>昨年オープンした「たたらば壺番地」の入込客を含む雲南市延べ入込客143万人の観光客は、正に同施設が市内南口の玄関の役目を果たし、観光施策が大成功した1つであると思う。来春には尾道松江線全線開通で、観光客の増加が見込まれる。この好機を捉え、さらに維持発展させていく観光施策の重要性は増すばかりだ。まだまだ工夫や改善をしていく課題もあると思うが、次について伺う。</p> <p>(1)「たたらば壺番地」駐車場の拡張計画が示された。拡張されれば益々、</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
				<p>トイレ及び道の駅まで距離ができる。雨天、降雪ともなれば、駐車場内での移動に際し、事故の懸念もある。屋根付き歩道の設置が望まれるが、考えがあるか伺う。</p> <p>(2)加茂岩倉パーキング内に遺跡訪問専用駐車場がオープンした。高速道路内には、何か所かの案内板はあるが、目立ちにくい。近くの山肌への大型告知看板、のぼり旗、イベント等でアピールする必要があると思われるが、第二期工事を含め考え方を伺う。</p> <p>(3)岩倉遺跡駐車場で車から降りて最初に目にする看板は、劣化した表面で判読することが難しい。市内観光地での案内板の管理、点検はどのように実施しているのか伺う。</p> <p>(4)法人化に向かう雲南市観光協会について伺う。</p> <p>①観光協会と雲南市のかかわり方は、法人化前後で比較して、人的なことも含めどの様に違ってくるのか伺う。</p> <p>②雲南市の観光施策の方向性と将来の市観光協会のあり方は、現段階でどのように検討されているのか伺う。</p> <p>(5)国民宿舎清嵐荘の改築計画が示された。唐津市の国民宿舎では指定管理料が0円であり、また管理者は施設の使用料を払っている。収支においても黒字経営と聞いた。改築後の清嵐荘運営のあり方について伺う。</p>	
2	2	中 村 辰 眞 (一問一答)	1. 災害対策・対応 について	<p>今年は全国で降雨による災害が発生している。避難勧告・避難指示が自治体全域に出される事も多くあった。雲南市としても、市民の生命財産を守るとの思いを更に強固しなければならない。</p> <p>(1)ハザードマップについて</p> <p>①本年度、ハザードマップが更新され各戸に配布された。更新前との変更点を伺う。</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
				<p>(2)避難所について</p> <p>①自主的に避難しようとする市民に対して避難所が開設されていない事 があつてはならない。避難所の開設の基準について伺う。</p> <p>②避難所は誰が開設し、管理するのか伺う。</p> <p>(3)非常食の備蓄について</p> <p>①市内における非常食及び飲料水の備蓄状況を伺う。</p> <p>②市内で同時多発的に災害が発生したときに、現在の備蓄の量では不足 しているのでは。備蓄数の増や広範囲に分散して備蓄していかなけれ ばならないと考えるが見解を伺う。</p> <p>(4)防災計画について</p> <p>①8月16日に京都府福知山市の中心市街地が水没した。54号沿線の木 次町から三刀屋町にかけての中心市街地も水没の危険性を含んでい る。対策の有無を伺う。</p> <p>②中心市街地が水没するような状況が発生すれば、「雲南真砂土」といわ れるように真砂土地域である市内では、土砂災害が発生し、市内の各 所が孤立するのではと懸念する。孤立解消までの物資輸送について想 定される手段を伺う。</p> <p>③広島市の災害では、戸外の防災放送が雨音や雷鳴などにより住民へ届 かなかった。更に土石流により設置されている支柱が倒れ機能しなかつ た。雲南市が整備するデジタル防災無線はこの点を踏まえて整備さ れなければならない。見解を伺う。</p> <p>(5)防災教育について</p> <p>①東日本大震災発生時の釜石の奇跡を教訓とし、子どもたちに対しての 防災教育は重要である。雲南市における防災教育の現状を伺う。</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			2. 子ども虐待防止 について	<p>(6)異常気象の近年、とりわけ今年は昨年までと違う状況であった。災害発生を予防していく事が大変な中、行政・市民双方が力を合わせて、自助・共助・公助を再度強く認識し、生命・財産を守っていける雲南市であるべきと考える。市長の見解を伺う。</p> <p>(1)雲南市では、本年度から子育て支援課内に子育て相談室を開設し、子育てに対して積極的な取り組みがなされている。しかしながら、全国的に見れば子育ての狭間で虐待事例も発生し問題となっている。</p> <p>①本年の雲南市における子ども虐待の現状を伺う。</p> <p>②子ども虐待防止に関して、どのような取り組みがなされているのか伺う。</p> <p>③11月は子ども虐待防止月間である。11月1日に行われる市制施行10周年式典会場で、子ども虐待防止の啓発活動は出来ないか伺う。</p> <p>④「子育てするなら雲南市」であるならば、保育、教育、医療、地域一体での環境づくり等、あらゆる角度から子育てに対して取り組む必要があると考える。このような子育てしやすい環境下に虐待を防止する効力があると考えますが、市長の所感を伺う。</p>	
3	19	堀江治之 (一問一答)	1. 人口減対策につ いて	<p>(1)人口対策本部(担当部局)の設置について</p> <p>①国・県では、人口対策本部の設置、全国各地の自治体でも人口対策のための部局等の設置が進められているが、雲南市では専従部局等の設置の考えはないのか伺う。</p> <p>(2)都市部から市内への移住対策について</p> <p>①都市部でのアンケート調査では、農山村への定住条件として、20代の約4割が医療・雇用の条件が整えば移住願望があるとの結果が出てい</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			<p>2. 地籍調査について</p> <p>3. 介護保険事業について</p>	<p>るが、医療施設の整備方針について伺う。</p> <p>②雇用の場の確保に向けた方針について伺う。</p> <p>(1)地籍調査業務の進捗状況について</p> <p>①山林等の境界確認が難しくなり、地籍調査は時間との闘いと言われているが、市内地籍調査の進捗状況と事業完了見込み時期について伺う。</p> <p>(2)地籍調査の測量精度について</p> <p>①平板測量により実施された地籍調査と現在の調査の測量精度の差異の現状について伺う。</p> <p>(1)今年最終年度となる「雲南地域第5期介護保険事業計画(H24～H26)」で計画された施設整備事業の雲南市内の実績はどの様になっているのか伺う。</p> <p>(2)地域医療・介護総合確保推進法が成立したが、これまでの介護保険事業がどの様になるのか、その概要と市民に与える影響について伺う。</p> <p>(3)高齢化が進行する中、認知症の発症者が増え、更には近年若年性認知症も増加傾向にあると聞くが、市内の認知症の発症の現状について伺う。</p> <p>(4)今後更に認知症患者も増加傾向にあるが、徘徊行動対策も含めた今後の認知症対策について考えを伺う。</p> <p>(5)第5期介護保険事業の実績・介護総合確保推進法の成立を踏まえ、2025年問題(団塊世代が75歳以上となり75歳以上が2,000万人を超える問題)を控え、今後の介護保険事業計画はどのような方針で取り組まれるのか伺う。</p>	



質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
				<p>②企業団地の整備は計画的に進められているが、高速道の開通や経済状況を見ると事業の進捗が遅いと感じている。現状では企業が誘致を決めても3年、4年先でないと用地が準備できないでは、他の自治体に勝てない。企業のニーズに素早く対応する準備が必要であると考えますが、市長の見解を伺う。</p> <p>③近年積極的に起業支援をする自治体が増えてきている。支援の範囲もハード的なものからソフト面など幅広く行われている。起業支援により経済の活性化など多くの効果が期待できる。若者をはじめ市内の方を対象に呼びかけることで定住促進策としても効果があると考え。積極的な起業支援する考えはないか伺う。</p> <p>(2)農業の支援について</p> <p>①専業農家や担い手農家等を中心とする担い手の仕組みを展開していく必要がますます求められていると考えるが市長の見解を伺う。</p> <p>②法人組織や集落営農組織を守るためにも、大型機械の更新にかかる経費の助成が必要と考えるがその考えがあるか伺う。</p> <p>(3)林業支援について</p> <p>①雲南市も80%が森林である。行政において森林の再生・森林の振興に力を入れているが、森林所有者の森林整備に対する意識の低下等から十分な整備が行われず放置された森林が多くなってきた。山を守るために、今どのような施策を講じる必要があると考えているか伺う。</p> <p>②国土保全の視点からも森林所有者や一自治体での森林整備には限界があると考え。国の施策として自治体と連携した取り組みが必要と考えるが、国へ働きかける考えはないか伺う。</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
5	7	細 木 照 子 (一 括)	<p>1. 「地域自主組織」の法人化を目指す取り組みの進捗状況について</p> <p>2. 「ふるさと納税」制度の来年度以降の取り組みについて</p> <p>3. 「住民票」等のコンビニエンスストアでの交付について</p> <p>4. 災害避難地図の表示内容について</p> <p>5. 食品表示法に基づくアレルギー表示への積極的な意見上申について</p>	<p>(1)住民自治の担い手となる「地域自主組織」法人化を目指して、雲南市を先頭に賛同する自治体で、6月初旬に関係国会議員と新たな法整備の必要性や課題について意見交換をされたと聞く。その後の状況や見通しについて伺う。</p> <p>(1)政府は、「ふるさと納税」制度を来年度から拡充する検討に入ったといわれる。今でも自治体の姿勢によって、納税に差が出ている。雲南市として、積極的なPRをしたり、新たなアイデアにより拡充する良い機会と考える。市の考えを伺う。</p> <p>(1)浜田市では来年1月から、市民が住民基本台帳カードを使い、全国のコンビニで住民票等の交付が受けられるサービスを始める。市民にとっては大変便利なことだと思うが、雲南市でも取り組む考えはないか伺う。</p> <p>(1)配布された災害避難地図(ハザードマップ)は、個々具体的内容が小さすぎて読み取れない。「指定避難所」と「大字別」の範囲の地図で、分かりやすいものにできないか伺う。</p> <p>(1)消費者庁は今年6月下旬に、食品表示法に基づく新たな表示基準案を示した。アレルギーの原因となる原材料の表示も徹底する。7月から一般の意見公募を始め、消費者委員会の答申を経て、来年6月までに同法を施行する。雲南市として積極的に上申し、より良い食品表示法にする考えはないか。</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			6. 難聴者対策について	(1)身体障害者手帳の交付対象になる国内の聴覚障がい者数は、36万人といわれている。しかし、専門家によると日本では65歳以上の25%、約2,000万人に難聴があるといわれる。難聴は『見えない障がいである』と言われるように、本人も気づきにくい。早く手を打たないと抑うつ傾向や認知症になる割合が高まるといわれている。難聴者への支援策、配意の実態を伺う。	
			7. 緑茶・蕎麦の生産拡大について	(1)以前から大東町は「お茶」が有名だった。蕎麦も排水の良い土地なら比較的簡単に作れる。学者によっては、緑茶で認知症改善効果を確認したり、女性の胃ガン予防効果もあるとされる。蕎麦には血圧降下作用が確認されたルチンが多く、健康維持への貢献が期待されている。これらの作物について、生産指導する考えはないか伺う。	
			8. 国道・県道・市道の道路脇の花木や街路樹と安全対策について	(1)街路樹やコンクリート壁のつつじやさつきや花木の効果は認識している。しかし、車が入り出す所や交差点などでは、花木や街路樹は意外と見通しを遮り危険だ。安全の観点から点検して、除去等の対策を取られる考えはないか。	
6	3	原 祐 二 (一問一答)	1. 転出減と転入増の対策について	(1)教育施策について ①生まれ育った雲南市で居住し、地域で頑張る若者を育てる教育の取り組み状況について伺う。 ②ふるさとへの自信と誇りをねらいとした、幸雲南塾 in さんべの成人式アンケート結果と今後の取り組みについて伺う。 ③土曜日の教育活動推進プランとして実施している、自分をつくる楽校において小学校では雲南市の幸と恵、中学校では市内の企業で働く若	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			2. 高齢者の健康対策について	<p>者に力点を置き実施してはどうか伺う。</p> <p>④第3次市教育基本計画策定において、地域で頑張る若者を育てる教育の姿勢について所見を伺う。</p> <p>(2)若者施策について</p> <p>①人手不足が深刻化する中、若者の県外流出が更に懸念されるが雇用対策についての取り組み状況を伺う。</p> <p>②市内企業と近隣市町の企業を紹介する冊子を作成し、高校3年生、新成人、就職活動者に配布又はホームページに掲載することで転出減と転入増を図ってはどうか伺う。</p> <p>③新卒者の転出減と転入増の施策として、就職祝い金や奨学金返済の助成制度を創設し、若者の定住促進を図ってはどうか伺う。</p> <p>④市雇用創造協議会等を活用し、市内から通勤可能である近隣市町と連携を図り、広域的に情報を共有することで転出減と転入増を図ってはどうか伺う。</p> <p>(1)高齢者の予防接種について</p> <p>①高齢者に対する予防接種の有効性について伺う。</p> <p>②高齢者への定期予防接種及び任意予防接種の種類について伺う。</p> <p>③高齢者への予防接種の助成状況について伺う。</p> <p>④高齢者への予防接種の周知方法について伺う。</p>	
7	1	松林孝之 (一問一答)	1. 公の施設の今後について	<p>昨年の11月に市が有する公の施設の改革方針の見直しを示された。その後の検討状況と第2次総合計画の策定に併せた、今後の見通しや将来のビジョンを伺う。</p> <p>(1)学校施設は明らかにされなかった。昭和40年代に建設され老朽化が進</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
				<p>む校舎等の改修の必要に迫られる中、学校の適正規模適正配置の観点からも検討を進めなければならない。検討されているのか。併せて、改修と更新について所感を伺う。</p> <p>(2)27の施設について5つの種別に分類し、運用見直しの方針が示された。</p> <p>①「見直し域」に分類された施設の、その後の利用・運用状況を伺う。</p> <p>②「整理対象域」に分類された施設の、その後の利用・運用状況を伺う。</p> <p>(3)温浴施設・宿泊施設は、清嵐荘の改修計画が示されており、掛合まめなかセンターを除き築30年未満の施設となる。宿泊施設は新しい施設でも利用実数が少ないものが多いが、この施設は観光施策には欠かせないものである。利用の増加が必須であるが、対策について伺う。</p> <p>(4)ホール施設は、ラメール及びチェリヴァホールにおいては、更なる利用増を目指すことが重要と考えるが、古代鉄歌謡館の利用は見えにくい。施設の活用方法を含め再検討が必要と感じるが考えを伺う。</p> <p>(5)体育館施設は、経過年数も様々でありそれぞれ地域において利活用されている。単純な利用実数だけに視点を置かず、災害時の避難施設としても考慮すべきである。学校体育館や他施設との位置関係も含め、あり方の方向性を伺う。</p> <p>(6)野球場施設は、整備後概ね30年が過ぎており、同様に老朽化が進んでいる。近隣他市は「市営野球場」を有している。立地条件に優れる加茂中央公園野球場を、硬式にも対応する「雲南市営球場」として整備し、県内外からの大会誘致や県内では未実施のプロ野球の試合誘致なども視野においた改修をしてはどうか。考えを伺う。</p> <p>(7)昨年11月段階に示された維持管理の費用の推計は、普通交付税一本算定による減額を見込んだ中期財政計画からの算出であった。減額される</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
				交付税の3分の1が復元されるとは言え、一層の経費削減が求められる。次の世代に残すべき公の施設のあり方について所感を伺う。	
8	16	山崎正幸 (一問一答)	1. 地域資源(農地)の保全と雇用の場確保による定住に向けた魅力ある地域づくりについて	<p>(1)中山間地域の経済は、昭和30年代までは、稲作、畜産、炭焼きなどで支えてきていた。40年代以降大半の農家は副収入を得ることで家計を支え、地域社会を維持してきた。現在水田等の農地は経済的な役割は薄くなったとはいえ、地域の重要な資源としての役割を果たしている。人口の減少、少子高齢化が加速する中、これらの対策を講じるにあたって、改めて農地が果たしてきた役割を振り返る必要があると考えるが所見を伺う。</p> <p>(2)中山間地域では、これまで誘致企業や建設・建築業が地域経済をリードしながらこれらに関わるサービス産業が家庭の収入を支えてきた。これらの産業も厳しい状況におかれ、若者は高賃金や多種多様な職業を求めて市外、県外へと流出している。こうした厳しい現状を地域づくりを含めどのように捉えているのか伺う。</p> <p>(3)このような厳しい現状のなか、これまで定住を支えてきたのは古くからの「地域の絆」であり、「愛着のある農地水田と農村風景」である。特に大きいのは「企業の雇用による賃金所得の確保」であり、現状の雇用状況のもと、市内、県内においても企業の立地状況や通勤距離等により、人口の流出に大きく影響を与えている。また、農業組織の集団化や機械化によって、若者世代は農業が身近なものとならず、土地(地元)への愛着が薄れてきているのではないかと感じている。これらの定住の要素についてどのように感じているか伺う。</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			2. 持続可能な農業 経営のための施策 について	<p>(1)雲南市は水田農業が中心であり、集落営農組織化やその法人化が進められているが、大規模な組織化は困難で 20ha 程度が限界と伺っている。米価が下がってきており農業経営者にとっては後継者がいない状況である。雲南市の農業の現状をどのように認識しているか伺う。</p> <p>(2)農業の有識者に聞くと、米価が一袋 6,000 円で経営面積 10ha でかろうじて赤字が出ない程度であり、耕作条件が良好であれば経営面積 20ha 規模でやっと収益が見込めるとのことである。今後、米価がこれ以上下がれば経営として成り立たないとのことだが、平成 26 年度産米のコシヒカリ A1 等米で 4,500 円と聞いている。</p> <p>このような状況では、経営を継続することは難しく農地の荒廃につながることを危惧する。地域を守っていくためには経営が成り立つことが絶対必要条件と考えるが所見を伺う。</p> <p>(3)現在、専業農家及び後継者がいる農家はどれくらいあるか伺う。また、後継者が育成され、今後も経営の持続が可能な農家や法人等の組織はどれくらいあるか伺う。</p> <p>(4)稲作農業が継続して経営するためには、日本型直接支払制度の更なる充実や中山間地域等直接支払の継続、農地集積・集約化を中心とした総合整備事業も必要である。また、雲南農業振興協議会や J A 雲南と連携を強化して事業の推進を図るべきと考えるが所見を伺う。</p> <p>(5)今後、米に代わる作物の導入を図り、赤字が出ない農業経営に転換することも必要と考えるが、具体的な目標を設定して新たな作物の導入を図る考えはないか伺う。</p> <p>(6)現在、島根県において、6 次産業化を支援する制度が新たに作られている。この制度の概要説明を求めるとともに、市内業者や農業者にとのよ</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			3. 工業振興とまち づくりについて	<p>うに周知されたか伺う。</p> <p>(1)新たな工業団地の整備が進められているが、市民の生活は企業があつてこそ定住につながっており、そのことにより地域の存続が確保されると考える。「地域の幸」に加え、安全性も確保できるこの地域を全国の企業に注目してもらい、雲南市として自信と本気度をもって紹介できる計画となっているか伺う。</p> <p>(2)雲南市の現状を自信をもって紹介することは、「幸運なんです雲南です」また、「子育てするなら雲南市」のキャッチフレーズどおりのまちづくりを行っている証であると考え。そうした点を踏まえ市長の見解を伺う。</p>	
			4. 地域づくり支援 について	<p>(1)各地域自主組織で地域計画が策定されているが、策定後の支援が重要である。具体的にどのような支援を行っているのか。また、現場で一緒に活動をサポートする専門家の支援が必要と考えるが、その考えがあるか伺う。</p> <p>(2)地域振興は地域とそれをサポートする担当職員との信頼関係の上に成り立っている。担当者の異動は、一定期間は控えながら長期的な考えで配置するように要望も聞いているが、考えを伺う。</p>	
			5. ふるさと納税の 効果と今後の取り 組みについて	<p>(1)ふるさと納税のこれまでの実態と、寄せられた浄財により何が行われたのか。また、その効果について伺う。</p> <p>(2)ふるさと納税の制度改正が国において検討されている。雲南市もこの機会をとらえ更に充実し、ふるさと会等へ積極的にPRすべきと考えるが所見を伺う。</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
				(3)ふるさと納税として浄財を寄せていただいた「縁」を大切に、雲南市ファン、応援団として「絆」に成長させることが必要と考えるが、所見を伺う。	
9	6	多 賀 三 雄 (一問一答)	1. 原発問題への市長の政治姿勢について  2. 地元商工業の振興について	(1)市長の福島視察について ①市長は、どういう目的で、どこに、何を見に行ったか。 ②現地視察で、どういう声を聞き、何が分かり、何を感じたか。 (2)島根原発の再稼働について ①規制委員会の規制基準は世界最高の基準と認めるか。 ②再稼働を容認する考えか。安全協定と住民納得が得られれば認めるのか。  (1)消費税増税後の地元商工業者の現状について ①どんな声を聞いたか。現状をどう捉えているか。 ②消費税の滞納の状況は把握しているか。 ③今後をどう見ているか。 ④5%から8%、10%への増税で事業者の納税負担はどれだけ増えるか。 (2)中小企業振興基本条例と小規模企業基本法に関して ①中小企業振興基本条例に関して、アンケート調査だけでなく聞き取り調査をすべきではないか。 ②中小企業振興基本条例に基づいて、誘致企業・大手進出企業に何を求めるか。 ③小規模企業振興基本法を市の施策にどう生かすか。 ④商工業予算の割合をもっと増やすべきではないか。	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			3. 雲南省の「質の高い教育」とは	<p>(1)雲南省がめざす「質の高い教育」とはどんなものか。</p> <p>(2)英語教育を始めるのは早ければ早いほどよいと考えるのか。また、その根拠はあるか。</p> <p>(3)学力テストの学校別結果公表をしない理由は何か。</p> <p>(4)安倍内閣の「教育改革」は、財界の要求による1割の優秀な「グローバル人材」の育成であり、すべての子どもを「グローバル市民」に育てるものではない。雲南省は、どちらをめざすか。</p> <p>(5)保護者が求めている学校・教育とはどんなものと考えているか。</p>	
10	15	細田 実 (一問一答)	1. 島根原子力発電所と事故対策について	<p>(1)議会原子力発電対策特別委員会で福島県浪江町、桑折町を視察した。原子力災害、放射能事故による被害の一端を見ることができ、その被害が地域、人心におよぼす影響の大きさを感じた。また、立地自治体とそうでない自治体とでは事故時の連絡、避難に大きな差があったことも学んだ。また、桑折町を視察し65キロメートル離れている地域での被害の実態から、事故の影響は原発からの距離でなく風向き、地形、雨、雪などさまざまな要因で広がることを学んだ。自治体の動きでは函館市が大間原発の建設中止や原子炉設置許可の無効確認を求める訴訟を起こすなどの動きがある。次の点について市長の所感を伺う。</p> <p>①函館市の大間原発の建設中止や原子炉設置許可の無効確認を求める訴訟についての所感を伺う。</p> <p>②実効性ある避難計画が重要である。しかし、浪江町では避難計画は道路寸断などうまくいかなかったと聞いた。また、原発事故避難計画は実質的には住民の移住計画であるがその対策を伺う。</p> <p>③立地自治体と周辺自治体では事故の影響は同じであることを改めて認識したが、安全協定締結をはじめ周辺自治体の連携も強化しながら住</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			<p>2. 子供の権利と市政への反映について</p> <p>3. 図書館の充実について</p>	<p>民の命とふるさとを守るために全力をあげるべきと考えるが伺う。</p> <p>(1)札幌市を視察し、子どもの権利条例、子どもの未来プランなどを調査した。子どもが生き生きと過ごし、自立した社会性のある大人へと成長できる社会づくりに向けて取り組まれていた。</p> <p>①子どもの権利条約についての認識を伺う。</p> <p>②雲南市も子どもの意見を取り入れたまちづくりの必要性があるのではないか。</p> <p>③子ども議会の開催などの考えはないか。</p> <p>(1)市民の要望として、平和図書の充実、検索システムの充実を求める声がある。どう対処するか。</p>	
1 1	9	周 藤 正 志 (一問一答)	<p>1. 平和教育・学習について</p> <p>2. きめ細かな障がい者施策に向けて</p>	<p>(1)学校における平和教育にとどまらず、「平和を」の都市宣言を一層生かし、実のあるものにするため、子どもから戦争を知らない大人に対して、生涯学習の一環として平和教育・学習を充実・強化していくべきではないか。</p> <p>(1)身体障がい者を対象とした市職員採用試験において、第3次試験で健康診査を課しているのは不適切であり、改善すべきだ。</p> <p>(2)出雲養護学校雲南分教室開校に向けての課題について問う。</p> <p>①通学に際し、公共交通利用や保護者による送迎ができないケースも予想されるが、市として通学手段の確保・支援をどう考えているか。</p> <p>②卒業後、一人でも多く地元就労につなげなければならない。そのためには、受け入れの土壌をつくっていく必要があるがどう取り組んでい</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
				くのか。	
			3. 子どもを取り巻く状況の改善に向けて	(1)わが国の子どもの貧困率は、16.3%で過去最悪を更新した。市における状況と対策はどうか。 (2)中学生のスマホ・携帯の所有が増えているが、中学校からの情報モラル教育をさらに充実・強化させる必要があるのではないか。 (3)市内の一部の保育所で市外業者の牛乳が提供されているが、地産地消が基本ではないか。	
			4. 若者の活力を生かす施策について	(1)大学、専門学校がない雲南市にとって、若者に一人でも多く来てもらい、賑わいと活力を生み出すこと、また、若者や女性から支持、評価されるまちとなることが、持続可能な市としての条件である。 ①市外から雲南市を応援してくれる人（雲南応援団）を全庁的な取り組みで増やしていくことが重要だが、どのように取り組んでいるのか。 ②全国各地で街コンが開催され、出会いの場がつくられているが、他にはない雲南市ならではの方法で取り組んだらどうか。	
			5. 農業施策の今後の取り組みについて	(1)中山間地域等直接支払制度は、第3期目が今年度終了する。次期には協定を結ばない所が出てくると思われるが、どう取り組んでいくのか。 (2)多面的機能支払制度の協定締結状況が良くないようだが、どう改善していくのか。	
			6. 温泉地域の振興について	(1)旧温泉小学校舎、幼稚園舎をどのように有効活用していくのか。	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
1 2	8	佐藤 隆 司 (一問一答)	<p>1. 第2次総合計画基本計画策定と雲南ブランド化プロジェクトの検証と今後の取り組みについて</p> <p>2. 「まち・ひと・しごと創生本部」の取り組みに対する市の対応について</p>	<p>(1)雲南ブランド化プロジェクトは、第1次総合計画ではどのように位置付けられていたのか。</p> <p>(2)雲南ブランド化プロジェクトは、平成19年度から平成26年度の8年間において、第1期(H19～H21)の3年間は集中的な取り組みをし、その成果を活かして第2期のプロジェクト(H22～H26)が取り組まれてきた。平成23年度からは、雲南ブランド推進グループが新設され、特に「見える化」として情報発信に力を入れられてきたが、それらの成果をどう評価されているのか伺う。</p> <p>(3)第2次総合計画策定委員会では、雲南ブランド化プロジェクトはどのように検証されたのか。</p> <p>(4)現在この取り組みは、産業振興、交流人口拡大、定住人口確保など市全体の施策効果を高めていく取り組みとなっている。ブランド化とは“雲南らしさ”を無限大に高めていくものであると考えるが、第3期計画は策定されるのか伺う。</p> <p>(1)総務省「まち・ひと・しごと創生推進本部」が9月に設置される予定である。第2次総合計画の基本構想の最優先課題に「人口の社会増」を掲げられたこのタイミングでの地方創生に向けた各省庁の施策展開が行われることに対し、市長の所感を伺う。</p> <p>(2)他市町同様に当市としても早速対応する必要があると思うが、今後の取り組みについて伺う。</p> <p>(3)6月の一般質問で「社会動態の増減には、国の方針や島根県、近隣市町と連携や景気、経済状況により他力的な影響が大きい」と指摘した。今回、国により縦横断的に取り組まれることで、第2次総合計画の基本構</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			3. 現在の本庁舎・ 分庁舎跡地等の利 用について	<p>想の独自性が薄らいだ感があるが見解を伺う。</p> <p>(4)「まち・ひと・しごと創生本部」では「個性あふれる地方の創生、経済の好循環を広げ、総合的に日本を元気にする、各部局が情報を共有し、有効な施策を迅速に企画立案する。」を目的に地域の資源をもっとプレイアップすることが必要と言われている。雲南ブランド化プロジェクトはそれに先駆けた取り組みであったと思うが見解を伺う。</p> <p>(5)今、まさに6町の特徴を活かしたまちづくり、これから先10年のオンリーワンをつくり上げることが求められている。それが『うんなん』の強みであり市の発展につながると考えるが見解を伺う。</p> <p>(1)現庁舎及び分庁舎、市埋蔵文化財調査事務所の跡地利用の検討状況を伺う。</p> <p>(2)公の施設の見直しが進められているが、連担地域の拠点や跡地利用の観点からも木次体育館を建て替える必要があると思うが見解を伺う。</p>	
			4. 尾原ダム「水源 地域ビジョン」の推 進とインターハイ (ボート競技)の取 り組みの現状につ いて	<p>(1)平成28年(2016年)に中国地方5県を会場に全国高等学校総合体育大会(インターハイ)が開催される。さくらおろち湖は、ボート競技会場に決定している。現在の取り組み状況を伺う。</p> <p>(2)来年、第8回全日本マスターズレガッタをリハーサル大会と位置づけして開催が予定されている。情報発信と市民への周知や受け入れ態勢など市民上げての取り組みによる盛り上がりが必要と思われるが、どのような判断をされているのか伺う。</p> <p>『1.充分間に合っている・2.ほぼ間に合っている・3.どちらとも言えない・4.少し検討が必要、・5.間に合わない』の5つの設問に答えるとした</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
				<p>らどの状況か。</p> <p>(3)尾原ダムの地域に開かれたダム整備計画を経て、ダムを活かした水源地域の自立的・持続的な活性化のために尾原ダム水源地域ビジョンが策定された。策定委員長として直接策定に携わられた速水市長の今回のビッグスポーツイベントに対し、どのようなおもてなしが必要か、市民が関わりや役割があるのか、地域への経済効果をどう生み出す考えか意気込みを伺う。</p>	